

上下水道事業の経営基盤の強化について

資料 6

【上下水道事業の経営状況】

- 人口減少、節水機器の普及等による給水収益の落ち込みにより、収支不足が深刻になっています。
 - 喫緊の財源確保が必要
 - ・上下水道事業ともにR6予算において収益的収支が既に赤字状態になっています。(右図①、②)
 - ・水道事業：収益的収支不足から剰余金が激減し、R8以降は欠損金が累積します。(右図③)
 - ・下水道事業：過去の下水道施設整備に充てた企業債の償還がピークを迎えています。
このままではR7には資金ショートになります。(右図④)
- ⇒ 令和5年度に行った上下水道ビジョンの中間見直しでは、資金不足を全て料金改定で補う場合、水道事業で23%、下水道事業で27%の改定が必要と分析しています。
- ⇒ 上下水道事業の経営基盤の強化のため、財源の確保が必要です。
- ⇒ 財源確保の方策については、下記の点に留意し慎重に検討します。

【財源確保の方策検討に係る留意点】

- ①「河内長野市を支え続ける安心上下水道」の追求し、持続可能な災害に強いライフライン維持の方策の検討
 - ・上下水道施設の耐震化
 - ・濁水対策
 - ・企業経営の安定化
- ②「世代間における負担の公平性を確保する方策」の検討
 - ・企業債償還の平準化
- ③物価高騰の中、市民・事業者負担を可能な限り抑制する方策の検討
 - ・事業費の見直し



事業費（費用）の見直しを行い、財源確保の方策を検討します。
それでもなお不足する資金については、「料金改定」によって補い、
上下水道事業の経営基盤を強化します。

●水道事業会計

(単位: 千円)

《3条 収益的収支》		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
収入	料金収入等	1,864,928	1,796,611	1,759,356	1,712,249	1,681,957	1,652,025	1,626,414
	長期前受金戻入(B)	361,203	320,754	307,744	284,162	271,811	262,334	255,027
支出	営業費用等	1,279,184	1,277,439	1,254,725	1,255,546	1,277,200	1,265,270	1,268,296
	減価償却費(A)	929,447	949,926	951,506	934,112	1,031,595	1,001,428	998,757
収入-支出		17,500	(110,000)	(139,131)	(193,247)	(355,027)	(352,339)	(385,612)

《4条 資本的収支》		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
収入	企業債	450,000	250,000	566,000	697,000	659,000	554,000	534,000
	その他収入	295,312	276,261	191,665	436,111	233,509	153,349	133,600
支出	建設改良費	1,357,715	1,327,861	1,577,273	1,978,726	1,852,621	1,546,581	1,426,654
	企業債償還金等	347,410	345,073	320,318	289,327	278,419	256,966	265,878
収入-支出(不足額 D)		(959,813)	(1,146,673)	(1,139,926)	(1,134,942)	(1,238,531)	(1,096,198)	(1,024,932)

《資金残高》		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
累積損益	繰越利益剰余金	302,356	318,956	208,956	69,825	(123,422)	(478,449)	(830,788)
	当年度純利益(3条)	17,500	(110,000)	(139,131)	(193,247)	(355,027)	(352,339)	(385,612)
計(C)		319,856	208,956	69,825	(123,422)	(478,449)	(830,788)	(1,216,400)
補填財源	積立金	1,397,400	1,398,300	1,232,300	959,300	570,300	291,300	98,300
	損益勘定留保資金	1,430,170	1,188,901	909,649	818,618	1,159,690	1,081,350	1,043,092
	消費税収支調整額	89,539	58,159	126,445	149,545	142,596	121,711	112,243
	計(D)	2,917,109	2,645,360	2,268,394	1,927,463	1,872,586	1,494,361	1,253,635
	使用額(4条)(E)	(959,813)	(1,146,673)	(1,139,926)	(1,134,942)	(1,238,531)	(1,096,198)	(1,024,932)
残額(F=D+E)		1,957,296	1,498,687	1,128,468	792,521	634,056	398,162	228,703
資金残高(C+F)		2,277,152	1,707,643	1,198,293	669,099	155,607	(432,626)	(987,697)

① R 6 予算で赤字

③ 剰余金が減少し、
R 8 以降は欠損金が累積

●下水道事業会計

(単位: 千円)

《3条 収益的収支》		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
収入	料金収入等	2,151,939	2,090,731	2,064,670	2,047,605	2,038,200	2,002,861	1,964,513
	長期前受金戻入(B)	879,436	833,600	799,245	801,326	804,026	803,044	802,397
支出	営業費用等	1,144,681	1,186,906	1,148,693	1,137,235	1,168,058	1,142,143	1,130,574
	減価償却費(A)	1,787,356	1,747,425	1,733,644	1,747,380	1,750,564	1,754,127	1,763,841
収入-支出		99,338	(10,000)	(18,422)	(23,684)	(76,396)	(90,365)	(127,505)

《4条 資本的収支》		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
収入	企業債	679,700	1,261,523	1,181,236	1,144,421	744,322	464,200	334,200
	その他収入	630,969	811,655	609,174	581,816	595,097	436,270	307,104
支出	建設改良費	611,955	1,087,059	986,993	1,153,961	1,108,802	717,292	539,932
	企業債償還金等	1,781,364	2,013,409	1,999,931	1,924,059	1,477,341	1,404,855	1,317,554
収入-支出(不足額 D)		(1,083,964)	(1,025,976)	(1,196,514)	(1,351,783)	(1,246,724)	(1,221,677)	(1,216,182)

《資金残高》		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
累積損益	繰越利益剰余金	0	0	(10,000)	(28,422)	(52,106)	(128,502)	(218,867)
	当年度純利益(3条)	99,338	(10,000)	(18,422)	(23,684)	(76,396)	(90,365)	(127,505)
計(C)		99,338	(10,000)	(28,422)	(52,106)	(128,502)	(218,867)	(346,372)
補填財源	積立金	118,935	89,986	7,843	0	0	0	0
	損益勘定留保資金	922,870	930,366	934,399	940,054	946,538	951,083	961,444
	消費税収支調整額	32,806	53,467	58,160	61,337	65,951	42,479	38,137
	計(D)	1,074,611	1,073,819	1,040,402	1,001,391	1,012,489	993,562	999,581
	使用額(4条)(E)	(1,083,964)	(1,025,976)	(1,196,514)	(1,351,783)	(1,246,724)	(1,221,677)	(1,216,182)
残額(F=D+E)		(9,353)	47,843	(156,112)	(350,392)	(234,235)	(228,115)	(216,601)
資金残高(C+F)		89,985	37,843	(148,269)	(350,392)	(234,235)	(197,721)	(153,022)

② R 6 予算で赤字

④ 企業債の償還がピーク
R 7 に資金ショート